

ノード機関の役割について

平成22年3月15日
国立情報学研究所

ノード機関の役割について

■経緯

現ノード機関は、SINETノード(昭和61～平成15年度)及びスーパーSINETノード(平成13年度～18年度)として整備された。(【参考】参照)

SINETとスーパーSINETをシームレスに統合したSINET3においては、基本的にすべてのノードにおいて同一のネットワークサービスの利用を可能としたが、拠点としての性格及び位置はそのまま継承されている。

■現在のノード機関の役割

①ノード機器の設置関連(平成27年度末まで維持)

- ・ ノード機器の設置場所の提供・管理
- ・ ノード機器に関わる光熱水料(電気、空調)の負担
- ・ 上記に係る人的負担(機器の管理、入館管理)

②地域及び研究コミュニティの中心機関としての役割

- ・ 学術情報ネットワーク運営・連携本部や地域ネットワークなどの運営組織への協力
- ・ 研修会やセミナー等の開催
- ・ 要望の把握や回線状況の把握などの地域加入機関のとりまとめ

■今後期待される現ノード機関の新たな役割(案)

- ・ 学術情報基盤オープンフォーラム地域連絡会の開催協力
 - ・ 域内大学等のニーズ等のとりまとめ
 - ・ 関連ワークショップ等の開催
- 等

【参考】旧SINETノード、スーパーSINETノード

No.	機関名	SINETノード	スーパーSINETノード	No.	機関名	SINETノード	スーパーSINETノード
1	北見工業大学	○		32	岡山大学	○	
2	北海道大学	○	○	33	広島大学	○	○
3	弘前大学	○		34	山口大学	○	
4	東北大学	○	○	35	香川大学	○	
5	群馬大学	○		36	徳島大学	○	
6	筑波大学	○	○	37	愛媛大学	○	
7	埼玉大学	○		38	九州大学	○	○
8	千葉大学	○		39	九州工業大学	○	
9	東京大学	○	○	40	長崎大学	○	
10	国立情報学研究所	○	○	41	熊本大学	○	
11	早稲田大学	○	○	42	大分大学	○	
12	東京工業大学	○	○	43	鹿児島大学	○	
13	電気通信大学	○		44	琉球大学	○	
14	東京農工大学	○		45	高エネルギー加速器研究機構		○
15	横浜国立大学	○		46	日本原子力研究開発機構		○
16	慶應義塾大学	○	○	47	理化学研究所		○
17	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部	○	○	48	国立情報学研究所千葉分館		○
18	新潟大学	○		49	東京大学 物性研究所		○
19	信州大学	○		50	東京大学 医科学研究所		○
20	山梨大学	○		51	統計数理研究所		○
21	静岡大学	○		52	秋葉原クロスフィールド		○
22	自然科学研究機構(岡崎)	○	○	53	国立天文台		○
23	名古屋大学	○	○	54	宇宙航空研究開発機構 総合技術研究本部		○
24	富山大学	○		55	海洋研究開発機構		○
25	金沢大学	○		56	国立遺伝学研究所		○
26	福井大学	○		57	核融合科学研究所		○
27	京都大学	○	○	58	神岡宇宙素粒子研究施設		○
28	同志社大学	○	○	59	北陸先端科学技術大学院大学		○
29	大阪大学	○	○	60	京都大学化学研究所		○
30	神戸大学	○		61	関西大学		○
31	鳥取大学	○		62	高輝度光科学研究センター		○